

## 「卞在昌宣教師の誤認逮捕と起訴に関する声明文」

卞在昌宣教師は、国際福音キリスト教会に属していた元女性献身者の虚偽の訴えによって、2010年1月28日木曜日朝、警察に逮捕されました。そして、21日間に亘る警察と検察の調べの中で、元女性献身者が被害を受けたと主張している事件当日、事件があったと主張している部屋には、韓国から来日した宣教師夫妻が、事件当日と主張されている日の午前から次の日の朝まで滞在していたことが判明しました。

これらによって、被害を受けたと言う元女性献身者の主張は、全く根拠のない偽りであり、事実を曲げた捏造であることがいっそう明らかになりました。さらに、元女性献身者と手を組んでいる周りの人々も、このような偽りの訴えに加担し、最後まで警察に偽りの証言をしたことも分かりました。

にもかかわらず、警察や検察は、作り上げられた一方的な主張だけを鵜呑みにし、逮捕と起訴という形をとりました。その結果、卞在昌宣教師本人の人権は踏みにじられ、家族も多大な精神的苦痛を受けています。また、国際福音キリスト教会の信徒及び関連団体の名誉と信用も甚だしく傷つけられ、計り知れない精神的かつ経済的な損失を被りました。さらに、偽りの証言によってキリストの福音と教会の名までも汚されたことは、日本のキリスト教界全体にとっても大きな打撃であると言わざるを得ません。

卞在昌宣教師及び国際福音キリスト教会は、女性の偽りの証言だけで、無実の人が凶悪犯罪者とみなされる現実に、大きな悲しみを覚えています。それと共に、明確な証拠と証人が存在するにも関わらず、起訴までされる現実を見ながら、この日本の国で、私たちのような被害者が二度と現れないよう切に願うと共に、真相を明らかにするため、最善を尽くします。

近年日本では、卞在昌宣教師のような冤罪被害者が少なからず出ていると聞いています。私たちは、その方々と協力し、冤罪による被害者をなくすために努めていく所存です。

神様は正義で公正なる方であられることを私たちは固く信じています。ヨセフの真実を明らかにして下さった神様は、本件を通して、栄光をお受けになることを信じ、祈り続けます。

2010年2月18日木曜日

国際福音キリスト教会  
代表牧師会一同